

TAKE FREE 自由にお持ち下さい

Information Magazine MUSATOKU LETTER

武蔵野徳洲会病院 地域密着型情報誌

2019 WINTER No.5



■特集：新年のご挨拶

～鈴木洋通院長よりご挨拶～

看護部長・事務長

副院長と各副診療部

■外国人患者受入れ医療機関

認証制度 (JMIP)」の認証を取得

MUSATOKU LETTER

2019 WINTER No.5

編集・発行 武蔵野徳洲会病院
協力 (表紙写真) 武蔵野大学 写真技術研究部

医療法人 沖縄徳洲会

武蔵野徳洲会病院

MUSASHINO TOKUSHUKAI HOSPITAL

写真：お台場（東京都港区）

撮影：武蔵野大学 写真技術研究部 山条 勇翔

アクセス

【車の場合】

・五日市街道「ロイヤルホスト桜堤店」を北進
・青梅街道「都立田無高・小金井公園北東角」
を目標におこしてください

【バスをご利用の場合】

- ▶西武新宿線・田無駅南口
コミュニティバス(はなバス/第3ルート)
西東京市役所田無庁舎前より
向台循環]行き乗車約10分
おおぞら公園西]下車すぐ目の前
- ▶JR中央線・武蔵境駅北口
関東バス(のりば5)
武蔵境駅(北口)より
ヴィーガーデン西東京]行き乗車約10分
武蔵野徳洲会病院]下車すぐ目の前



武蔵野徳洲会病院と田無駅南口・東小金井駅を結ぶ「無料シャトルバス」の運行を行っております。



田無駅南口 方面

ルート：ローソン西東京南町五丁目店 ↔ 病院

東小金井駅北口 方面

病院発ルート：病院 → ミニストップ小金井梶野町店 → 東小金井駅

東小金井駅発ルート：東小金井駅 → 病院

※東小金井駅発の場合、ミニストップ小金井梶野町店は経由せず、直接病院に到着いたします。

停留場所や運行時刻に関する詳細は、お問い合わせいただくかホームページをご覧ください。



- 注 ●日曜、祝日は運休となります。●運行状況により到着時刻が遅れる場合があります。
- 意 ●天候により運行が休止になる場合があります。●定員を超えての乗車は車内事故防止のためできません。
- 事 ●お身体の不自由な方は付き添いの方と一緒にご乗車いただけますようお願いいたします。
- 項 (車椅子は車内に持ち込めません)

救急は365日24時間対応しております。

医療法人 沖縄徳洲会

武蔵野徳洲会病院

MUSASHINO TOKUSHUKAI HOSPITAL

www.musashino-hp.jp

むさとく 検索

〒188-0013

東京都西東京市向台町3-5-48

■患者さん・代表：☎042-465-0700

■健診ドック：☎042-465-0769

■患者さん以外：☎042-465-0792

■地域連携室：☎042-465-0781



※ナンバーリクエストの導入について

当院では迷惑電話対策のため「番号非通知」のお電話を、お取り次ぎ出来ない設定にしております。大変お手数ではありますが、「番号通知」にてお電話いただけますようお願いいたします。

謹賀新年

武蔵野徳洲会病院 鈴木 洋通 院長

新年おめでとうござります

私ども武蔵野徳洲会病院は開院から三年半の月日が経ちました。新しい病院であるが故の困難と希望を持って取り組んで参りました。これまでの三年半を振り返り、まとめてみますと、「救急は断らない」、「すべての患者さんに満足のいく医療を提供」、「それらを支える職員が誇りと希望を持って医療にあたれる病院づくり」を目指してきました。これらの目指してきたものは、今後も変わることなく継続していきたいと思っております。

こつした中で様々な課題が出てきたことも事実です。世にいう、「良質な医療は、どのようにつくり出すことができるのか」、これが私どもの今年

年の大きな挑戦課題です。良質な医療とは、医師、看護師に偏った医療ではなく、病院に勤務するすべての職員が一致団結して、病気という魔物に悩まされ、苦しんでいる患者さんやその家族の方に少しでも生きていることへの喜びや希望の光を見出していただけのことではな



看護部長 斎藤 英子

謹んで新年のお慶びを申し上げます

一言ご挨拶させていただきます。昨年は6月3日に開院以来、初めての病院祭『むさどくフェスティバル』を開催することができました。多くの皆様にお越しいただきましたことを感謝申し上げます。また、応募の看護師の方が「家族が通院しています」「家族が入院していました」とお話しされることもあり、当院が認知されつつあると実感しております。

早い段階から関わることが重要と考えています。病院の成長と同時に看護も専門領域である救急看護、がん看護等の知識・技術を備えた看護師の育成が必須となります。「心にとどく看護」が実践できるよう努力しております。

8月に在宅診療を開始し、12月には訪問看護ステーションを開設しました。「とどき入院、ほほ在宅」の実現にむけてスタートしたばかりですが救急から在宅への幅広い展開でさらに地域貢献ができればと思います。入院の患者さまがその人らしく地域で暮らせ



新たなステージへ

2019年 新年あけましておめでとうござります。

武蔵野徳洲会病院は4回目の新年を迎え、6月には5歳となります。今年、平成から次の〇〇へ時代が変わります。来年になれば平成の時代にできた病院と呼ばれます。しかし、人間の一生で例えると幼稚園の年中です。まだまだ未熟です。

「一人前になつたなあ」と一年でも早く呼ばれるよう積極的に行動しています。フラッグを掲げる院長の元、矢継ぎ早に、救急指定、フルオープン、病院機能評価、JMIP（外国人患者受入認証）他の取得を積極的にチャレンジしています。そこにはそれなりの紆余曲折がありました。



事務長 新井 秀樹

何とか乗り越え今日を迎えております。（幼稚園生ながら努力していること自負しております。）

今年、更に、がん治療の本格的参入と増床（申請中）を計画しております。診療では慶応義塾大学、杏林大学病院との連携を強化いたします。外来では4月より東京女子医科大学の協力のもと耳鼻咽喉科を開設し診療の幅を広げます。これらは、地域のみならず今まで以上のより質の高い医療サービスが提供できることと思っております。

努力を惜しまず、積極的に前を向いて今年も頑張つて参りますのでよろしくご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。



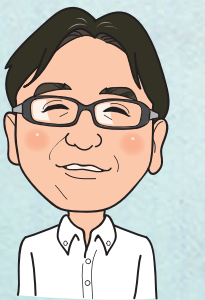
救急センター 阪本敏久 副院長

新年明けましておめでとうございませう

私たちの病院はもうすぐ開院4年を迎え、少しずつ地域の方に利用していただけるようになりました。スタッフ一同ゼロから発進して、チームとして邁進してきました。おかげで周辺の医療機関より秀でた点もいくつか挙げられるようになりました。しかしまだまだ成長しなければならぬ点は多く、患者さんに満足していただいているとは思っておりませう。本年も新分野を開拓し、より地域に密着した医療を提供する所存です。

MUSATOKU LETTER 新年のご挨拶

副院長と各副診療部よりご挨拶申し上げます



健康管理センター 吉田和也

明けましておめでとうございませう。昨年は当センターをご利用いただき、誠にありがとうございませう。本年も皆様にご満足いただける医療とサービスを提供できるようスタッフ一同務めてまいります。



放射線科 濱野浩二

新年あけましておめでとうございませう。旧年中は多くの皆様に当院をご利用いただきました。当放射線科は最新の医療機器を揃えており、かつ、比較的スムーズに検査をお受けすることが可能です。

本年もスタッフ一同、更なる努力をもってより良い医療の提供に貢献していきませう。どうぞよろしくお願ひいたします。



薬剤部 篠原 裕

新年明けましておめでとうございませう。「薬の事なら武蔵野徳洲会病院の薬剤師へ」を目指して、皆様に安心安全な薬物治療を提供していきませう。



臨床検査科 塚越 由香

明けましておめでとうございませう。当科では1月より、一部の感染症の遺伝子検査を院内で行なうことができるようになりました。また、2月より超音波検査機器が増えるため検査で患者様をお待たせする時間が短くなりました。地域の皆様のご健康を願ひ、お役に立ちたいと臨床検査技師一同、精進して参ります。



リハビリテーション科 高橋 嘉一

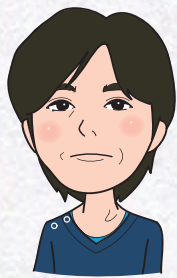
開院4年目を迎え当院に救急搬送されて入院される方を主な対象としてリハビリを行なっております。また、昨今のリハビリ職種の役割として、病気にからぬ予防的観点からのリハビリ啓発についての役割も求められる時代になってきており、地域への健康啓発活動として医療講演を院内外問わず積極的にこなしております。

スタッフ一同、より一層勉強して地域の皆様のご健康維持に貢献していきませう。



臨床工学科 余地 紀嗣

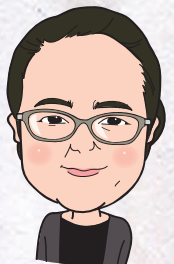
新年明けましておめでとうございませう。今後とも安全な医療を提供できるよう努力して参りたいと思ひます。本年も宜しくお願ひ申し上げます。



栄養管理室 土屋 輝幸

あけましておめでとうございませう。外来患者様には、決して押しつけではない生活スタイルに応じた栄養相談を実施させていただいております。随時受け付けていますのでお気軽に問ひ合わせください。

入院患者様には、最後の一口まで美味しいと喜んでいただけるような食事提供をモットーに邁進して参りますので、今後とも宜しくお願ひ致します。



医療安全管理室 吉田 和子

医療安全管理室では、本年も当院にお越しいただいた皆様に、安全な医療が提供できるよう活動して参ります。院内における医療について、ご不明なことやご心配なことがございましたら医療安全管理室までお問ひ合わせください。



感染管理室 工藤 智史

年末年始や2〜4月にかけて様々な集まりなどで多くの人と接触する時期です。これにあわせて流行性感染症などで体調を崩されることもあると思ひます。規則的な生活や手洗い、うがい、マスクの着用などで日常的な感染予防対策を心がけていただければと思ひます。

感染予防対策は、当院を利用される方と職員との共同作業があつて実現できるものです。本年もご協力をよろしくお願ひいたします。



大根と鶏肉の揚げ出し



材料 (2人前)

- ・大根……………1/3本(300g) ・だし
- ・鶏肉(ももから揚げ用)…150g めんつゆ(2倍濃縮) 1/4カップ
- ・木綿豆腐……………1/2丁(150g) 水…1/4カップ
- ・片栗粉、サラダ油……………各適量 ・薬味(各適量) 小ねぎ(小口切り)しょうが(すりおろし)



ポイント▶ カラッと揚がるように揚げる直前に衣をつける!

作り方

- 1 大根は皮を剥いて一口大に切る。鶏肉と豆腐も一口大に切る。
- 2 豆腐は切ったら、バットなどにキッチンペーパーを敷き15分程置いて水気を切る。
- 3 大根と鶏肉、豆腐に片栗粉をまぶす。
- 4 油を熱して1を揚げる。大根は約160度で6~7分、鶏肉は約170度で6~7分、豆腐は約3分揚げて、表面がカラッとするように仕上げる。
- 5 だしは600Wのレンジで40秒程温める。
- 6 器に盛り、だしをかけ薬味をのせる。

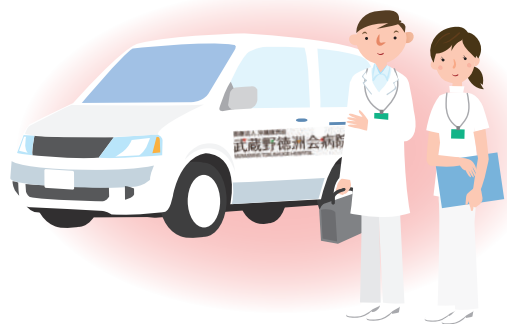


2018年12月より

訪問看護ステーションを開始しました。

訪問看護とは、主治医またはかかりつけ医の指示のもとご自宅等で病気や障害の療養をされている方のもとへ看護師等が訪問し、住み慣れた地域やご家庭でその人らしく療養生活が送れるよう健康状態の悪化防止や病状の回復に向けて多職種の方々で連携を取りながら療養上のお世話や診療の補助を行います。

当訪問看護ステーションでは、24時間の電話相談や緊急訪問看護を提供できる体制を整えており、またご家族に対しての相談や支援も実施致します。



お問い合わせは「武蔵野徳洲会訪問看護ステーション」

☎042-429-0550



外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)」の認証を取得 当院は2018年12月5日、「外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)」の認証を取得いたしました。

この制度は、一般財団法人日本医療教育財団が医療機関の外国人受入れ体制を中立・公平な立場で評価する認証制度です。厚生労働省による政策の一環として、外国人の方々が安心・安全に日本の医療サービスを楽しむことができるように、外国人患者様の円滑な受入れを推進する国の事業として策定されました。

当院では2018年3月に日本病院機能評価の認証を取得後、外国人患者様にも安心・安全な医療を提供できるように院内環境を整えるためにこのJMIPの受審を決定し、準備を進め審査を受け、無事に認証を取得することができました。

院内の案内表示や書類などに英語や中国語の表記・併記があります。これらも外国人患者様を受け入れるための環境整備の一つです。



外国人患者様のお問い合わせ 国際医療支援室まで



JMIPの認証取得にはこの認定が必要でした!



病院機能評価の認定を取得

当院は、2018年3月に公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の認定を取得しております。病院機能評価とは、病院が組織的に医療を提供するための基本的な機能が、適切に実施されているかどうかを評価するものです。評価調査者(サーベイヤー)が中立・公平な立場にたつて、所定の評価項目に沿って病院の活動や機能の状況を評価し、審査の結果、一定の水準を満たしていると認められた病院が「認定病院」となります。認定病院は、地域に根ざし、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、常日頃努力している病院であるという評価になります。当院はこの評価を継続できるよう、引き続き病院の質の改善・向上に取り組んで参ります。

■病院機能評価とは
病院の質改善活動を支援するツールです。病院機能評価は、国民が安全で安心な医療が受けられるよう、4つの評価対象領域から構成される評価項目を用いて、病院組織全体の運営管理および提供される医療について評価します。

- 領域 1 「患者中心の医療の推進」
- 領域 2 「良質な医療の実践1」
- 領域 3 「良質な医療の実践2」
- 領域 4 「理念達成に向けた組織運営」